

主要教科 [音楽]

図書コード・書 名		597	音楽をもっと好きになる 本 1 歌や演奏を楽しむ		598	音楽をもっと好きになる本 2 いろいろな楽器を知る	
発 行 者・著 者		学研	工藤 啓子		学研	工藤 啓子	
判型・ページ数・価格		28.5×22.5cm	47ページ	3,850円	28.5×22.5cm	47ページ	3,850円
採 択 基 準	基 本 観 点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	歌や打楽器でのリズム、ピアノや木琴などの楽器だけでなく、コーラスやアンサンブルなどいろいろな演奏の活動を紹介している。			世界中の楽器の名前や特徴を取り上げ、楽器の音を聴くことができる。オーケストラや合奏の仕組み、指揮者の仕事についても取り上げている。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	D 段階			C・D 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	イラストや図解が多く、視覚的に分かりやすい。二次元コードから音や曲を聴くことができる。			写真やイラスト、図解が多く、分かりやすい。二次元コードから楽器の音を聴けるなど、聴覚にも働きかける工夫がなされている。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	「ドレミの歌」が何度も出てくることで期待感を持つことができる。豆知識やコラムがあり、興味を引く工夫をしている。			実際の音をすぐに聴くことができ、木管楽器、金管楽器、撥弦楽器、鍵盤楽器、打楽器など数多くの楽器が登場する点から、子どもたちの好奇心をかき立てる工夫をしている。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	重唱や合奏の項目では、表現を工夫したり、いろいろな演奏の方法を試したりすることができる。楽譜の仕組みやルールなどの基礎知識を学ぶことができる。			インタビューやコンサートに関するコラム等音楽に関するエピソードがあり、知識だけでなく、音楽に対する気持ちや楽しさにも触れている。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	個人から少人数、集団での合奏へと進む構成となっている。歌うこと、楽器を演奏すること、合奏することへと活動の広がりがあがる。			音の出し方ごとにグループ分けし、順序立てて学ぶことができ、個別の楽器から全体（オーケストラ）へ理解が広がる構成である。指揮者の役割の記載やコラムから、音だけにとどまらない興味の広がりが考えられる。		
	(2) 全体の分量	ページ数は少なめだが、1 ページの内容量は多く、少しずつ学習を進めることができる。			ページ数は少なめで、楽器ごと、テーマごとに構成されており、少しずつ読むことができる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	文章だけでなく、楽器や演奏しているイラスト、楽譜などを収録している。すべての漢字にルビが振られている。			楽器だけでなく、演奏している様子がイラストで描かれている。すべての漢字にルビが振られている。楽器が描かれた絵画を収録している。		
	(2) 図表、写真等の資料	イラストや楽譜を使用している。			写真やイラストが多用されている。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	オールカラーである。「ドレミの歌」の楽譜は7ページにわたって収録されている。			オールカラーで、見開き1テーマで構成している。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	文章の文字は小さめだが、見出しは大きく見やすい。縦書きと横書きが混在している。			文章の文字は小さめだが、見出しは大きく見やすい。縦書きと横書きが混在している。		
	(3) 用紙、製本、表紙	ハードカバーで一般的な学習図書の仕様である。			ハードカバーで一般的な学習図書の仕様である。		
備 考 (発 行 年)		二次元コードがあり、音や曲を聴くことができる。 (H29)			二次元コードがあり、楽器の音を聴くことができる。 (H29)		

主要教科 [音楽]

図書コード・書 名		773	音楽をもっと好きになる 本4 名曲を感じる		510	歌のミュージックランド (4訂版) 楽しい歌とコーラス	
発 行 者・著 者		学研	ひの まどか		教芸	市川 かおり	
判型・ページ数・価格		28×22.5cm	48ページ	3,850円	B 6 版	200ページ	420円
採 択 基 準	基 本 観 点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	クラシックの名曲18曲が取り扱われており、曲への知識を深めることで曲や演奏の良さを見出したり、音楽を聴いて感じたことを表現したりすることができる。			発行当時の人気曲から定番合唱曲、世界と日本の民謡まで幅広く収録した総合的な歌集であり、混声、輪唱も収録している。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	D 段階			D 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	イラストや図解が多く、視覚的に曲へのイメージを理解しやすい。二次元コードから曲を聴くことができる。			幅広いジャンルから児童生徒の興味・関心に即した楽曲を選ぶことができる。また、索引があるため、児童生徒自身が曲を探すことができる。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	曲のストーリーや時代背景、作曲家についての解説がイラストと文字で示されている。曲のイメージをつかみやすく、興味・関心を高める内容となっている。			キーボード、ギターのコードフォームが記載されており、興味を引く工夫がなされている。大和言葉や古称の訳があることで言葉への興味を引き出すことができる。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	曲についての知識を得たり、イメージを抱いて曲を聴いたりすることで、発想や表現を広げることができる。			速度記号や発想記号があることから、曲の背景を考えたり自分で表現する際の参考にしたりすることができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	興味・関心に応じて、作曲家の生涯や名曲の生まれた背景・曲のストーリーの理解や、曲想と音楽の構造との関わりの理解へと発展させることができる。			作詞作曲者名が記載されているため、他の楽曲を調べて発展的に親しむことができる。記載されている速度記号や発想記号から、曲想の似ている楽曲を分類することができる。		
	(2) 全体の分量	1曲あたりの解説の情報量は多く、詳しく解説されている。			児童生徒の実態や季節などに合わせて選曲できる、多くの楽曲が収められている。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	すべての漢字にルビが振られている。			短い曲の余白に挿絵がある。漢字、アルファベットにルビは振られていない。		
	(2) 図表、写真等の資料	曲の解説ではイラストが多く使われている。作曲家の肖像画が載っている。			すべての楽曲が楽譜と歌詞で構成されている。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	オールカラーである。1曲につき見開き2ページのレイアウトである。			白黒印刷である。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	イラストや写真に添えられている文字は小さめで、縦書きと横書きが混在している。			楽譜の主旋律の下に歌詞が書かれている。2番、3番まで歌詞が載っている曲もある。		
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙、中身ともに厚紙が使用されており丈夫である。			表紙は厚紙を使用している。		
備 考 (発 行 年)		二次元コードがあり、曲を聴くことができる。					
		(H29)			(H20)		

主要教科 [音楽]

図書コード・書 名		518	歌のミュージックランド (5 訂版) 楽しい歌とコーラス		523	歌のミュージックランド (6 訂版) 楽しい歌とコーラス	
発 行 者・著 者		教芸	市川 かおり		教芸	市川 かおり	
判型・ページ数・価格		B 6 版	208ページ	440円	B 6 版	208ページ	440円
採 択 基 準	基 本 観 点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	発行当時の人気曲や定番合唱曲、日本や世界の民謡等が収められた歌集である。興味・関心の幅が広がったり、歌唱を通して音楽表現を楽しんだりすることができる。			発行当時の人気曲や定番合唱曲、日本や世界の民謡等が収められた歌集である。興味・関心の幅が広がったり、歌唱を通して音楽表現を楽しんだりすることができる。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	D 段階			D 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	幅広いジャンルの曲が豊富に載っており、児童生徒の実態に即して楽曲を選ぶことができる。また、索引があるため、児童生徒自身が曲を探すことができる。			幅広いジャンルの曲が豊富に載っており、児童生徒の実態に即して楽曲を選ぶことができる。また、索引があるため、児童生徒自身が曲を探すことができる。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	幅広いジャンルの曲が豊富に載っており、学校生活や行事など、様々な場面で広く使用することができる。			幅広いジャンルの曲が豊富に載っており、学校生活や行事など、様々な場面で広く使用することができる。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	曲や歌詞の良さを見出し、自分の好きな曲を見つけたり、集団での音楽表現を楽しんだりすることができる。			曲や歌詞の良さを見出し、自分の好きな曲を見つけたり、集団での音楽表現を楽しんだりすることができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	斉唱から合唱へと発展させることができる。キーボードやギターのコードフォームが載っており、楽器演奏へと発展させることもできる。			斉唱から合唱へと発展させることができる。キーボードやギターのコードフォームが載っており、楽器演奏へと発展させることもできる。		
	(2) 全体の分量	幅広いジャンルの曲が多く掲載されている。			幅広いジャンルの曲が多く掲載されている。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	余白に挿絵が描かれている。漢字、アルファベットにルビは振られていない。			余白に挿絵が描かれている。漢字、アルファベットにルビは振られていない。		
	(2) 図表、写真等の資料	すべての楽曲が楽譜と歌詞で構成されている。			すべての楽曲が楽譜と歌詞で構成されている。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	白黒印刷である。			白黒印刷である。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	楽譜の主旋律の下に歌詞が書かれている。2 番、3 番まで歌詞が載っている曲もある。			楽譜の主旋律の下に歌詞が書かれている。2 番、3 番まで歌詞が載っている曲もある。		
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙は厚紙を使用している。			表紙は厚紙を使用している。		
備 考 (発 行 年)		(H24)			(H29)		